

令和8年 No.211

森林と大地と人が輝くまち

しもかわ

令和8年
下川町はたちを祝うつどい

2

議会だより



表紙の写真

20歳おめでとうございます！

(令和8年1月10日 はたちを祝うつどい)

p3～ 12月定例会議

p8～ 令和6年度決算認定審査中間報告

p5～ 一般質問

p10～ 町内・道内所管事務調査

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。
下川町議会に對しまして、日頃からご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も引き続き、町政推進の一翼を担う議会として、町民の皆様が安心して下川町で暮らし続けることができるよう、様々な町政課題に対し、皆様の声を受けとめ、調査、研究して、積極的に提案する議会を探索してまいります。

また、任期の最終年を迎える本年は、前回の選挙で生じた欠員を解消するため、次期町議会議員選挙に向けた「議員のなり手不足対策」への取り組みを進めてまいりたいと考えております。これまで下川町を築き、支えてきた諸先輩から、次世代へより良い下川町を引き継いでいくよう、町民の皆様からの信託と期待に応え、議員一人ひとりの努力を結集し、議会のチーム力を高めてまいります。

本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

下川町議会議長

我孫子 洋昌
あびこ ひろまさ



健康第一で、人とのつながりを再認識して、チャレンジする一年に！

ひとつでもいいので、初めてのことを始めて新しい世界の扉を開いてみたい



お ばら よしおき
小原 仁興 議員

今年こそいろんな蝶を標本にして文化祭に出品したい＆手話をがんばる！



おくざき ゆうこ
奥崎 裕子 議員

いよいよ、これからという新たな気持ちで、一年を前進していきたい



さいとう よしのぶ
斉藤 好信 議員

本年も中性脂肪の数値を正常化。加えて痛風予備軍からの脱出



おおにし いさお
大西 功 議員

これまでの延長線上ではなく、新しい可能性に挑戦する年にしたい



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

事務局長 神野 みゆき
事務係長 伊林 けんじ
一般事務 安藤 あんどう 幸恵





付託した案件の審査をする
総務産業常任委員会の様子

12月定例会議
12月16日～19日

【あらまし】

12月定例会議では、行政報告、条例の新規制定や改正、一般会計・各種会計の補正予算などが提案されました。一部は総務産業常任委員会に付託し、全て原案通り可決しました。

また、3名の議員が一般質問を行いました。

令和8年4月1日より
認定こども園
「こどものもり」で
こども誰でも通園制度による
受け入れが始まります！



質問 導入するために、保育現場ではどのような話し合いがされましたか？

答弁 こどものもりでは受け入れを0歳8か月からとしていましたが、「こども誰でも通園制度」対象者に合わせ0歳6か月から受け入れることにしました。対象年齢を2か月早めたことで誤飲などのリスクは高まりますが、保育士から「保護者に役立つサービスを行いたい」との声がありました。

意見 受け入れ要件が0歳6か月まで拡大することは、リスクや業務負担を考えると大きな決断だったと思われる。前向きな姿勢で取り組み現場の判断は高く評価したい。



◆下川町職員等の旅費や費用弁償などが変わります

- ・宿泊費↓上限付き実費支給
- ・日当↓宿泊日当
- ・日帰り出張↓日当廃止

質問 下川町独自の改正部分は？

答弁 概ね国家公務員等に準拠していますが、宿泊日当は定額支給にしました。

質問 日帰り出張で時間外の業務は時間外手当が支給されますか？

答弁 移動で定時を超えた場合、時間外手当は支給していません。前泊、後泊を促し、職員の負担がないようにしていきます。

意見 日帰り出張の日当の廃止は、職員等の負担を考えると疑問が残る。

意見 全体的には増額となり、レンタカーなどの経費が新設され、容認できる。





【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 94分
18:30 会議案上程



(動画時間) 42分
2:20 委員長報告
(総務産業常任委員会)

12月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和7年12月16日～12月19日）

議案の件名・概要・結果		結 果	桜 木 誠	奥 崎 裕 子	小 原 仁 興	中 田 豪 之 助	大 西 功	齊 藤 好 信	(欠 番)	我 孫 子 洋 昌	議 決 日	
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠												
△	下川町議会議員の議員報酬額及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。	12月16日
□	下川町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町公営住宅管理条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町営住宅使用条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町営サニール牧場設置及び管理運営に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町短期入所生活介護等事業条例及び下川町立特別養護老人ホームの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町一般会計補正予算（第6号） 補正額：△2,934万円 補正後の額：61億6,139万6千円 補正内容：給与改定、緊急を要するもの など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町介護保険特別会計補正予算（第3号）（介護保険事業勘定） 補正額：176万3千円 補正後の額：4億8,145万3千円 補正内容：システム改修委託料の増額、人事院勧告等に伴う人件費の増額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町介護保険特別会計補正予算（第3号）（介護サービス事業勘定） 補正額：356万8千円 補正後の額：3億6,068万4千円 補正内容：人事院勧告等に伴う人件費の増額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号） 補正額：42万円 補正後の額：4億8,989万円 補正内容：人事院勧告に伴う職員給与費等の増額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町下水道事業会計補正予算（第3号） 補正額：収益的支出 34万2千円 補正後の額：2億4,466万5千円 補正内容：人事院勧告に伴う人件費の増額	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町簡易水道事業会計補正予算（第3号） 補正額：収益的支出 81万3千円 補正後の額：2億8,109万2千円 補正内容：人事院勧告に伴う人件費の増額、桑の沢地区の漏水に伴う配水施設の電気料の増額	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町病院事業会計補正予算（第2号） 補正額：収益的支出 485万6千円 補正後の額：6億1,835万6千円 補正内容：人事院勧告に伴う給与費の増額	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度教育委員会の事務に関する点検・評価報告について	報告済	—	—	—	—	—	—	—	—	12月19日	
□	下川町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町認定こども園条例の一部を改正する条例	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	下川町職員等の旅費に関する条例及び下川町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	//	×	○	○	○	×	○	○	—		
□	令和7年度下川町一般会計補正予算（第7号） 補正額：1億126万1千円 補正後の額：62億6,265万7千円 補正内容：物価高騰対策による増額	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町下水道事業会計補正予算（第4号） 補正額：収益的収入 0円 補正後の額：2億4,278万4千円 補正内容：使用料1か月分減免による収益的収入の中の補正	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
□	令和7年度下川町簡易水道事業会計補正予算（第4号） 補正額：収益的収入 8万5千円 補正後の額：1億366万1千円 補正額：収益的支出 8万5千円 補正後の額：2億8,117万7千円 補正内容：使用料1か月分減免による営業収益の減額、営業外収益の増額 など	//	○	○	○	○	○	○	○	—		
△	多面的機能支払交付金の再検討を求める意見書	//	○	○	○	○	○	○	○	—		



さくらぎ まこと
桜木 誠 議員

子どもの自主性や個性を活かした教育をどのように考えているのか



(動画時間)
47分

教育長：通知表の廃止、制服の見直しなどは今後情報収集しながら検討していく

質問

町内で上映された「夢見る校長先生」というドキュメンタリー映画では、9名の校長が公立の小中学校で子どもの自主性や個性を尊重した学校運営を実践しているというものでした。具体的には通知表や校則が無いというもので既成概念を覆されるものでしたが、このような学校運営に対して教育長は、どのように考えていますか。

教育長

通知表の廃止や制服の制限などを設けている校則の見直しなどについては、今後、情報収集を行いながら、長所短所を研究し、学校経営に生かしていくこともありうると思っています。

再質問

例えば通知表の廃止は、子どもの精神的負担の軽減や教員の働き方改革によって、子どもたちや保護者と向き合う時間が増えるなどの効果もあると思いますが、どのように考えていますか。

教育長

子どもたちと向き合う時間に振り向けていくのが良いとの判断になれば、校長の考えを尊重しながら協議を進めてまいります。

小中学校で読解力を向上させるテストを行うべき



(動画時間)
62分

教育長：取り組むかどうか各小中学校長の意見を伺う



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

質問

全国的に児童生徒の学力低下が問題になっています。本町の小中学生は全国の学力調査において、根拠を明確にして書く、理由を書く、説明するという記述力について正答率がやや低かったようです。AIに仕事を奪われないために読解力・記述力向上がとても大切であり、子どもの将来のために児童生徒のこれらの力を育てる必要があります。教育長の見解を伺います。

教育長

AIとは勝手に動くのではなく、人間が言葉を駆使して入力しなければ、よい答えは出ません。必要な読解力・説明力は小さいときからの読書習慣の有無で大きく分かれるのではないかと思います。

再質問

AIの専門家や数学者の新しい井紀子さんが開発した「リーディングスキルテスト」は読解力を向上し、今の読解力の実力がどの程度か判断するテストです。本町で実施する考えはないですか。

教育長

毎月開催の小中学校の校長先生と教育委員会との会議で、取り組むかどうか校長先生の考え方も伺ってみたいと思います。

その他の質問事項

▶ 公区の今後について

町民に最大限還元できる施策として上下水道使用料金の減免を



(動画時間)
34分



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

町長：有効な施策として上下水道料金
1か月分の免除を検討している

その他の質問事項

▶技術者育成に係る支援について

質問 相次ぐ生活必需品の値上げによって著しく家庭生活に影響が出てきています。そこで生活者に還元できる施策として水道料金の減免を強く求めます。水道は誰もが使うもので、負担が軽減された分を食料品購入に充てられると思いますが、町長の考えを伺います。

町長 水道料金の減免に関しては、上下水道料金1か月分の免除を検討しております。また、生活全般の負担軽減に向けた、商品券の配布なども検討しており、効果的な物価高騰対策を進めてまいります。

質問 耐用年数40年を超えた水道管の更新は大きな課題です。今後、水道管の新設や取替工事だけでなく、点検作業の効率化、漏水事故等において、最新技術などを習得した技術者の育成が重要になると思いますが、町長の見解を伺います。

町長 産業振興条例に基づく人材育成支援を水道に関する最新技術の習得などに、積極的に活用いただき技術者育成に繋がればと考えています。水道管の老朽化対応を、町内事業者と連携してまいります。



(動画時間) 52分
3:43 議案上程

11月の臨時会議に提案された議案は原案通り可決しました。

また、9月定例会議で決算認定特別委員会に付託した、令和6年度下川町各種会計歳入歳出決算認定については、全体としては適当と認められましたが、五味温泉指定管理料の不明金の調査が続いているため、継続審査となりました。

(詳細は、8ページに掲載)

11月臨時会議
11月26日

11月臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和7年11月26日）

議案の件名・概要・結果		結果	桜木	奥崎	小原	中田	大西	齊藤	(欠番)	我孫子	議決日
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠			誠	裕子	仁興	豪之助	功	好信		洋昌	
□ 議会の議決に付すべき財産の取得について (ごみ収集用ダンプ車一式 契約金額：1,127万5千円)		可決	○	○	○	○	○	○	—		
□ 令和7年度下川町一般会計補正予算（第5号） 補正額：1,271万4千円 補正後の額：61億9,073万6千円 補正内容：緊急を要するもの、オリンピック選手の応援に係る経費の増額		〃	○	○	○	○	○	○	—	※	11月26日
□ 専決処分（第1号）の報告について (日昇団地公営住宅長寿命化型改善工事の設計変更に伴う契約金額の変更)		報告済	—	—	—	—	—	—	—		
□ 令和6年度下川町各種会計歳入歳出決算認定について		継続審査	—	—	—	—	—	—	—		
□ 令和6年度下川町公営企業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	○	—		

(※) 議長は議事の進行を行うため、賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。

議員とフリーストーク

令和7年11月25日にコモレビで開催した議員とフリーストークでは、さまざまな意見をいただきました。ここではその一部を紹介します。



その他の話題

- 道路改良工事で削った法面^{のりめん}の土が露出していて原状回復されていないようだ
- さびれた感じが強くなってきている商店街に、イルミネーションなどを設置して、活気を取り戻しては？
- 地元のスキージャンプ選手が途切れてきている
- 公民館大ホールの使い勝手が悪い
- 部活動の地域移行で一般の町民が部活を指導するのは現実的ではないのでは？
- 駆除されたシカやクマをもっと活用しては？
など

公区の会計や総務の負担が大きい。10年後を考えると心細い。来年度から会館の管理費収入がなくなると、公区活動に痛手。

一般質問で取り上げました

質問 公区の今後について

D X等の活用で事務負担を軽減しては？また、公区を発展的に解消して自治会組織に移行しては？

町長 事務のD X化は操作や経費を考えると難しい。自治会組織の形がふさわしいとの結論になれば、移行することも一つの手としてある。

議員とフリーストークは定例会議の前に開催し、どんな話題があったのかを議員全員で共有し対応を協議しています。

下川町のあれこれを皆さんと一緒に考えていくためにも、皆さんのお越しをお待ちしています！

議会モニターの皆さんと、議会の傍聴や議会だより、議員とフリーストークなどについて意見交換をしました。

「議員とフリーストークにテーマがあるといい」

「一般質問では、何をはっきりさせたいのかを最初に話しては」

「議会の傍聴は入りにくい」

などの意見があり、今後の議会活動の参考にしていきたいと思います。



令和7年10月1日
議会モニター会議を開催

決算審査とは、各種会計予算が目的通り適正に執行されたのかを審査するものです。

決算認定特別委員会を設置し、決算書や各種資料、担当課からの説明及び理事者の質疑などをもとに審査しましたが、公営企業会計を除き、

継続審査とすることに決定しました。



17:57
委員長報告
(動画時間) 53分

委員長：大西 功 議員 副委員長：中田豪之助 議員
審査日：令和7年9月18日、10月14日、15日、17日

令和6年度 決算認定審査 中間報告

11月臨時会議で中間報告をした内容を一部抜粋して掲載します

令和6年度下川町各種会計歳入歳出決算については五味温泉指定管理料に関する部分を除き、全体としては適当と認める。しかし、五味温泉指定管理料については、五味温泉の決算において不明金が発見され、現在、関係機関による調査が進められている。

このような状況において、当委員会では、必要な情報を得たうえで判断を下すべきと考え、「令和6年度下川町各種会計歳入歳出決算認定」については、継続審査とすることを決定した。

また、「令和6年度下川町公営企業会計決算認定について」は、計数的にも的確な処理がなされていることを確認し認定すべきものと決定した。

～ポイント～

- ・歳入：町税は減少、地方交付税、国・道支出金は増加、全体としては減少
- ・歳出：投資的経費は教員住宅整備事業により増加、義務的経費は減少、全体として増加
- ・基金現在高は、特別会計も含め25億円、6年連続増加

昨年建設された
教員住宅



令和6年度から下水道事業と簡易水道事業には公営企業会計が適用されたんだ



会計別の決算状況

	収 入	支 出		収 入	支 出
一般会計	57億2,398万円	55億7,161万円	下水道（収益的）	2億3,030万円	2億971万円
介護保険（事業勘定）	4億5,772万円	4億2,726万円	下水道（資本的）	1億1,769万円	1億9,813万円
介護保険（サービス勘定）	3億3,753万円	3億2,936万円	簡易水道（収益的）	2億871万円	2億1,442万円
国民健康保険	3億9,498万円	3億8,644万円	簡易水道（資本的）	2億1,173万円	2億8,106万円
後期高齢者医療	7,142万円	7,087万円	病院（収益的）	5億3,832万円	5億5,705万円
			病院（資本的）	2,070万円	2,234万円

決算認定審査における 理事者質疑と委員会の 審査意見

一の橋バイオビレッジ

一の橋は今、移住者の方も多く高齢化率は下川市街地よりも低く、住民も入れ替わり意識も変わってきている。今後行政が大きく関わり何かを作る計画はない。椎茸やイチゴといった特産品も生まれているので、それらをかけ合わせるアイデアをもとにして、特産品を開発していく。新たな産業などを進める前には、地域住民に説明をしてその声を吸い上げていく。

審査意見

山びこ学園と戸田建設株式会社による農福連携や特用林産物である椎茸栽培、駅力フェイチノハシの有効活用など多様な方法で集落機能の維持に努めていただきたい。

町長独自の政策

令和6年度は医療費助成を高校生まで拡充、中間支援組織を設立、小中学校のタブレット更新、教員住宅の建設、歯科診療所誘致と独自の事業を行ってきた。行政告知端末の廃止は苦渋の決断だった。後世の負担は軽減できたと思う。交付税が歳入の半分を占める構造であるが、政策と財政のバランスをはかり今後も政策を進めていく。

審査意見

限られた財源の中で高校生までの医療費助成拡充や人材確保、移住定住・産業支援、空き家対策などに取り組み一般財団法人しもかわ地域振興機構（しもかわ財団）の設立など評価できる。一方で、町民の中にはより生活に密着した施策を求める声もあり、広く町の声を聴く機会を設けるなど町民のニーズを把握し、より一層満足度を高める施策の実現に努めていただきたい。

人材不足の解消

福祉・医療分野での人材確保は外国人の採用についても情報収集を進めるよう指示している。外国の方は文化・習慣がかなり違う場合があるので、地元の住民もそれに馴染む必要がある。有害鳥獣駆除のための人材の確保は、地域おこし協力隊に限らず募集する予定である。資格を取った人に限らず、全ての移住者には、起業や就職など地元の方や企業に協力していただき、なるべく下川町に残っていただきたい。

審査意見

少子高齢化と人口減少に伴う人材不足の問題は、福祉・医療や農・林・商工業などのあらゆる分野や産業において深刻で早急に解決すべき課題である。福祉医療連携会議や産業振興審議会、しもかわ財団、商工会など多様な主体が情報共有と連携を図り、外国人も含めた人材の確保に努めるとともに、各分野での事業規模の縮小も状況に応じて検討するべきである。

五味温泉の運営状況

町は不正会計処理について再発防止・経営改善計画を公社に要請し、経営改善計画は策定され、町に提出されている。また、国の地域活性化起業人制度を活用した外部専門家によるアドバイスも受けている。今後の運営については理事会で検討中であり、使途不明金については、警察が捜査中であり、報告できる状況になったらお知らせしたい。

審査意見

五味温泉の不正会計処理について、議会も重く受け止めており、内部のガバナンスの緩みと会計処理のチェック体制が甘かったことが原因であることは明らかである。町も行政指導や指定管理者の選定など委託側として無関係ではないため、警察の捜査が完了した段階で総括をして適切な対応をするべきである。

町内所管事務調査

総務産業常任委員会

9月30日～10月1日



(動画時間)

53分

28:35から
委員長報告

所管事務調査は常任委員会
で所管している事項について、
自主的にテーマを設定し、審議に
必要な調査を議会の休会中に行
うものです。町から提案された
予算・条例案などの議案審査を
するのとは違い現地に行つて視
察や聞き取りをすることが多く
なります。

11月の臨時会議で結果報告し
た内容を一部抜粋してお知らせ
します。

◆多目的宿泊交流施設管理事業

多目的宿泊交流施設は、下川
商業高校及び下川中学校に在籍
する通学困難な生徒の共同生活
などを通じて生徒の健全な育成

を図ることを目的に、令和7年
度から指定管理を株式会社「G
rate Inc.」が担っており、
調査時点で男女合わせて11名の
生徒が共同生活を送っている。
食事は地元食材を活用してお
り生徒からは好評で、ゴミの分
別については、適切に行われる
ようスタッフが指導している。



多目的宿泊交流施設の食堂での意見交換

施設の運営は、単発的なス
ットで勤務するスタッフも含め
て6名で行っている。

【意見交換】

質問 施設の老朽化が進んでい

るが、どのような修繕がされて
いるのか。

教育課 本年度は、食堂の窓枠
を二重サッシにし、渡り廊下の
床材をクッションフロアに改修
した。

次年度は、食堂にクーラーを
設置する予定であり、築年数の
古い北棟については、現在使用
されている部屋の防寒対策とし
て二重サッシにし、居住環境の
改善を図る。

その他の調査項目と所見

◆有害鳥獣捕獲等対策事業

緊急銃猟の判断については、
人事異動があることから判断
の平準化は難しく、専門部署
の設置や専門職員の配置が望
まれる。

◆水道管の現状と今後の予定
漏水については、今後も引
き続き調査と解消に向けた対
応をしていただきたい。

◆下川小学校の運営状況

小中一貫校として9年間を
見通した教育実践を着実に推
進していただきたい。

施設の状態を見ながら今後も
計画的な修繕などを検討してい
きたい。

【所見】施設の老朽化が著しい
ため、計画的な修繕を通じて利
用される生徒の生活環境の改善
に努めていただきたい。

また、教育課と指定管理事業
者が情報共有を行うことで、事
業継続の支援となるよう、今後
も定期的な意思疎通を図ってい
くべきである。

◆ふるさと交流館管理運営状況

修繕については、閉館期間
などを活用し、来館者への影
響が少なくなるよう修繕計画
を策定すべきである。

◆未利用町有地の現状と今後の予定

役場庁舎の建て替えを遊休
地で検討した場合、堆雪場な
ど地域での優先度を明確にし
て、町民の理解を得るように
努めるべきである。

◆旧マトラストテクノクラ

シーの建物について
施設の劣化が進む前に活用
の判断を先延ばしせず、今後
早急に活用方針を定めてい
ただきたい。

道内所管事務調査

総務産業常任委員会

10月22日～10月24日



(動画時間)

53分

41:21から
委員長報告

◆住みたい田舎北海道エリア総合1位の取り組みについて(沼田町)

平成11年に沼田町移住定住の促進に関する条例に基づき、移住定住事業を開始した。

平成28年に「移住定住応援室」を設置し、様々な取り組みを進めている。

農村型コンパクトタウン構想「あるくらす」

車に頼らず高齢者などが「歩いて暮らせるまち」をコンセプトに、沼田駅を中心に半径500mの範囲内に学校や診療所、高齢者施設、スーパーマーケットなどを集約している。



沼田町役場での調査の様子

【所見】コンパクトなまちづくりは、行政サービスや行財政運営の効率化を図るうえで重要である。今後、公共施設の再編・統廃合を進めるにあたっては、各施設にどのような機能やサービスを集約するかによって、住民の利便性などが左右される。それらの観点を踏まえ、町民が利用しやすい効率的な行政運営につながるよう、施設の配置などに十分な配慮を行う必要がある。

◆「更別スーパービレッジ構想」について(更別村)

村が抱える様々な課題に対してデジタル技術を活用すると共に、地域のコミュニティを再構築するため、本構想を提案し、交付金の採択を受けた。公共施設や商業施設等にインターネットに接続できる環境を村全体に広げ、どこにいても施設予約や村内移動サービスを利用することができるようになることを目指している。

【所見】少子高齢化に伴う人材不足や住民サービス維持に対応するためには、各産業や福祉分野などでのデジタル化は必要不可欠である。本町のDX化の際は国の制度を有効活用し、地域の実情にあった施策を推進する必要がある。

◆おとふけ町ビジネス創出拠点「昭和学校palette」の取り組みについて(音更町)

旧昭和小学校の2020年の閉校をきっかけに、地域の活性化と産業振興を目的に、校舎にシェアキッチンやシェアオフィスを設けるなどのリノベーションを行い、官民連携で避難所を兼ねた施設として開設された。「商」の学校としたことでビジ

ネスの拠点ともなっている。【所見】企業支援から産業支援とつなげた参考となる事例である。本町でも取り組むことが可能な事業であるため、既存の施設を活用しつつ、地域課題の解決に結びつく振興施策を進めていく必要がある。



音更町「昭和学校」での活発な意見交換



学び動く下川町議会

上富良野町議会と「議会の活性化」について意見交換！

11月5日、上富良野町議会から議会運営委員会が下川町議会活性化の取り組みについて視察に訪れました。テーマは「議会活性の推進について」で、下川からは議会基本条例制定の背景や通年議会の運用状況などについて議会運営委員長から、また「議員とフリートーク」などの取り組みなどについては議会広聴広報特別委員会副委員長からそれぞれ説明を行いました。意見交換では、「議会基本条例を制定する際の議論はどうであったか」「通年議会とすることで得られた効果や課題は」などの意見交換が行われました。



また、多くの地方議会で課題となっている議員のなり手不足対策の取り組み状況や議員報酬の見直し検討などについても活発な意見交換が行なわれ、具体的な解決策がなかなか見えない状況の中、「早急に取り組まなければならない！」と議員全員で気持ちを新たにしました。

美深町議会と合同勉強会！



11月27日、美深町議会が一般質問の質の向上などを目的とした合同勉強会のために来町され、オンラインでの講演や意見交換が行われました。講演では「より良い一般質問にするには」と題し、地方議員研究会統括コンサルタントの川本達志講師からは、一般質問の成果として①現状に関する町民への明確な情報提供②隠れていた重要な課題③課題解決のための政策を提案し実現など、質問の成果を何に求めるかを常に意識すること、また質問する提案の内容によって行政側の取組状況や現状のデータなどを担当者から十分な聞き取りを行うことが必要などのアドバイスがあり、とても参考になりました。その後、3つのグループに分かれて自由な意見交換が行われ、どのグループも活気のある雰囲気の中、お互いの今後の活動を健闘し合うなど有意義な時間となりました。



興部町議会
「議員の学校(塾)」
などを視察！



12月26日、興部町議会の議員なり手不足対策と議会改革の取り組みについて視察を行いました。

興部町議会では、統一地方選挙3期連続無投票だったことから、議員なり手不足検討特別委員会を設置し、検討項目を設定。「議員の学校(塾)」の開催や議員報酬の改定を町長に申し入れするなどを行っています。

議員の学校(塾)については、「議会が何をやっているかを見せている」「すぐに議員のなり手が増えるとは思っていない、未来に種をまいている」「参加者同士のつながりができている」などのお話を伺いました。

「興部町は議員報酬改定の議論が注目を集めた。町に興味のない人に、興味をもってもらうことが重要」という言葉が印象的で、率直な考えを伺うことができ今後の議会の取り組みに大変参考になりました。

◇注目される下川町の取り組み◇

道内自治体議会の視察受け入れ

上士幌町議会

10月21日、上士幌町議会から総務文教厚生常任委員会と産業経済建設常任委員会の委員ら11名が「持続可能な地域社会の実現に向けて」「新規就農者支援事業」の視察に訪れました。



幕別町議会

10月28日、幕別町議会から産業建設常任委員会の委員ら5名が「SDGsパートナーシップセンター事業」について視察に訪れ、先進的な取り組みについて学んでいました。



由仁町議会

10月30日、由仁町議会から総務産業常任委員会の委員ら8名が「宅配等事業における地域おこし協力隊の活用」について視察に訪れ、熱心に聞き入っていました。



議会活動日誌 9月20日から12月19日までの議会の活動記録です (9月定例会議閉会後から12月定例会議閉会まで)

9月30日 第8回議会運営委員会

9月30日～10月1日

町内所管事務調査

10月1日 第1回議会モニター会議

10月14日 決算認定特別委員会(2日目)

10月15日 決算認定特別委員会(3日目)

第5回議会広報特別委員会

第4回議会だより編集委員会

10月17日 決算認定特別委員会

(4日目:理事者質疑)

10月22日～24日

道内所管事務調査(沼田町・更別村・音更町)

11月4日 高校生モニター(下川商業高校公共授業:模擬議会関係視察)

11月5日 上富良野町議会「議会運営委員会」行政視察

11月6日 上川管内町村議長会議員研修会(旭川市)

11月10日 第9回議会運営委員会

決算認定特別委員会(5日目)

11月25日 議員とフリートーク

11月26日 第10回議会運営委員会

11月臨時会議

高校生モニター(下川商業高校公共授業:模擬議会を説明)

11月27日 第11回議会運営委員会

美深町議会・下川町議会合同勉強会

12月1日 高校生モニター(下川商業高校公共授業:模擬議会を指導)

12月2日 第1回下川町議会諮問会議

12月9日 第3回全員協議会

12月11日 第12回議会運営委員会

第6回議会広報特別委員会

12月16日 12月定例会議(初日)

12月17日 一般質問

第5回議会だより編集委員会

12月19日 第13回議会運営委員会

12月定例会議(最終日)



上川管内町村議長会議員研修会(11月6日)

今後の定例会議予定

3月定例会議

4日(水) 初日

9月～12日(木) 予算審査

11日(水) 一般質問

16日(月) 最終日

※日程が変更となる場合があります

編集後記

12月の定例会議が終わってからアツという間にここまできました。編集後記を書いてる今は、12月もあと5日を残すのみ。活動日誌からも充実した日々が侘えま(自画自賛?)。

町民の皆さんに住みやすい町にしようと、日々ない知恵を絞って新しいことに挑戦しているつもりですが、高校での授業、その準備の大変さは想像を超えるものでした。本職の先生方はさすが、尊敬します。

皆さんが本号をご覧になる頃はイタリアで日本選手がスキージャンプをはじめ多くの競技で活躍していることを祈っています。(中田)



議会広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員長
副委員長
委員

おおく 奥中 桜
ざき 崎田 木
ゆう 裕之 豪
こ 子助 誠